

研究主題

「協働的な学び」の実現  
児童が主体的に学び続けるための授業の創造

大阪市立池島小学校

1. 取組内容

- 本年度の研究の視点の中に「学び合いの場を通して、学ぶことの楽しさを味わわせる」をあげ、授業研究会を重ね、研究協議会では授業の中での取り組みについて意見交換を行いながら、授業づくりに取り組んだ。
- 各学年の研究授業はもとより、指導案を伴う全教員の公開授業においても、「教え込み」でなく「教え合う、聴き合う」授業の創造を主眼とした授業をめざし、年間17回の授業研究とその後の討議会を行った。
- 池田市教育委員会教育課題推進委員、丹松美代志先生を講師として招き「協働的な学び」についての研修会を夏季休業中に行い、理論や他校の実践事例について講話をしていただいた。さらに、学期に1度、授業研究会（2年、4年、6年）において、具体的な指導方法について直接、指導助言をしていただいた。
- 大阪市教育センター教育指導員、中川正子先生には、4回の授業研究会（1年、3年、5年、特別支援学級）について、研究協議会において指導助言をいただいた。
- ICTを活用した授業研究発表会に参加し、具体的な活用方法や授業を参観し、校内での実践に生かした。
- 校内ICT研修会を2回実施した。また、ICTを活用した授業後の協議会でも活用例等をさらに詳しく研修・研究し、授業に生かすようにした。
- 授業や行事の取組みの中で、6月から1月末までの間に195時間、タブレットPCを活用した授業を展開した。
- タブレットPCの活用は、体育科での動画撮影、社会見学での静止画撮影、国語科での調べ学習からプレゼン発表、特別支援学級での資料提示などである。



ICTを活用した授業（6年・国語）



（特別支援学級・5年・算数）



（3年・社会見学）

## 2. 成果と課題

### 〈成 果〉

- 夏季休業期間中に実施した研修会および研究授業後の研究協議会で指導いただいた班学習やその編成、授業形態を日々の学習に取り入れることが多くなり、授業改革が進んだ。
- 授業形態に工夫を加えることにより、一斉学習でも班学習やペア学習においても、児童の中に、互いの意見を聴き合う姿勢が育ってきている。
- 学習中につまずいたり、困ったりした時、これまでは学習者が個別対応していたため、児童に待つ時間ができていた。また、支援が得られないと学びから逃避する児童が多かった。しかし、「学び合う」時間があることで、「友達にも聞ける」という安心感が広がり、「教えて」と素直に発言し、あきらめずに課題解決に向かう児童が増えてきた。
- これまで、授業をみる視点が、支援者の発問や板書計画など支援の仕方に集中していたが、児童の活動の様子や学びの育ちなど、主役である児童に焦点をあてることが増えた。

### 〈課 題〉

- 「課題の設定」から「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」へのスパイラルを形成するためのツールとして、ICTをさらに有効に活用していくこと。
- 「学び合い」の場において、活発な児童の意見・考えが交流できるよう、適切な課題の設定について、研究を重ねていくこと。